

2021年5月28日

オリンパス、イスラエル医療機器会社 Medi-Tate 社の買収を完了

～泌尿器事業における低侵襲治療領域の製品ポートフォリオ強化により事業拡大を加速～

オリンパス株式会社（取締役 代表執行役 社長兼CEO：竹内 康雄、以下オリンパス）は医療機器メーカーMedi-Tate社（メディテイト、本社：イスラエル ハデラ、以下Medi-Tate社）のすべての発行済株式を取得し、買収を完了しました。Medi-Tate社の持つ良性前立腺肥大症（以下BPH）向けの低侵襲治療デバイスを自社の製品ポートフォリオに加えることで、多様化する前立腺疾患の低侵襲治療の普及と患者さんの QOL 向上に貢献していきます。

Medi-Tate社は、BPH向けの低侵襲治療デバイスの研究開発、製造を行う医療機器メーカーです。同社の主力製品「iTind（アイティンド）」は北米、およびCE認証に基づき欧州の一部地域で販売されています。当社は2018年11月からMedi-Tate社への出資を開始し、出資時の契約には同社の製品を販売する権利と、同社の株式を100%取得できる権利（コールオプション）が含まれており、2021年2月から全株式取得に向けた交渉を行ってきました。

BPHは高齢男性に多く見られ、排尿障害の原因として最も一般的な疾患です。米国泌尿器科学会は、男性の10人に8人が、一生に一度はBPHを発症するとしており、また、この割合は年齢が高くなるほど大きくなっていくとしています^{※1}。高齢化社会に伴い、今後BPH治療へのニーズも拡大していくことが予想されます。BPHの一般的な治療方法は、投薬治療と外科的治療ですが、近年は、入院を要する外科的治療だけでなく、クリニックでの外来治療を可能にする非切除デバイスが現れ、選択肢が多様化しています。

※1 出典：American Urological Association, Benign Prostatic Hyperplasia.

<https://www.auanet.org/education/auauniversity/medical-student-education/medical-student-curriculum/bph>

オリンパスは、BPHの治療向けに、外科的治療のひとつである経尿道的前立腺切除術（TURP）に用いるデバイス（レゼクトスコープ、切除用電極など）を開発、製造、販売しています。一方、Medi-Tate社のiTindは、一時的に尿道に留置するナイチノール製のワイヤーデバイスで、前立腺肥大による下部尿路症状を緩和するための処置具です。iTindを折り畳んだ状態で尿道に留置し、5～7日間をかけて3方向に圧力をかけ尿道を広げることで排尿障害の改善をサポートします。

今回、非切除治療デバイスである同製品を当社の製品ラインアップに加えることで、患者さんの病状に合わせて、外科的手術からクリニックでの外来治療まで、幅広い治療の選択肢を提供していくことが可能になります。BPHの低侵襲治療領域における製品ラインアップの拡大により、泌尿器分野における事業競争力をさらに強固なものとしていきます。

< Medi-Tate 社概要 >

- 会社名：Medi-Tate Ltd.
- 本社所在：イスラエル ハデラ
- 設立年月日：2007年2月
- CEO：Ido Kilemnik
- 資本金：1百万円^{※2}（2021年4月末時点）
- 事業内容：医療機器の開発・製造
- 従業員数：13名

※2 1ドル=108.93円（2021年4月末の為替レート）で換算。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

- 報道関係の方：オリンパス株式会社 パブリックリレーションズ 足立
携帯：080-2175-5297
- ホームページ：<http://www.olympus.co.jp>

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

オリンパスの医療分野について

オリンパスの医療分野は、リーディング・メドテックカンパニーとして、革新的な技術と製造技術で医療従事者のみなさまとともに歩んでまいりました。診断そして低侵襲治療において、より良い臨床結果を生み、医療経済にベネフィットをもたらし、世界の人々の健康やQOL向上に貢献してまいります。

医療分野の製品ポートフォリオは、軟性内視鏡、硬性鏡、ビデオイメージングシステムから、外科用デバイス、システムインテグレーション、修理サービス、そして診断・治療用処置具のラインアップに至るまで、幅広い製品・サービスを提供しています。詳しくはwww.olympus.co.jpをご覧ください。